

# 緑の相談所だより

第25号

{12.1月号～1993.11.30～発行・編集 旭川市緑の相談所}

緑

ゆたかな都市づくりのため、旭川市緑の相談所へ……

わたしたちの暮らしにうるおいを与えてくれる緑、そのみどりについて情報を集めたユニークな三角屋根の建物が緑の相談所です。

花と緑のエキスパートが豊富な知識をもとに、アドバイスをしてくれる相談コーナーをはじめ、熱帯植物や四季折々の草花を飾った展示室、図書、視聴覚コーナーなど緑を愛する人のための施設です。花と緑について疑問や悩みごと、どんなことでも気軽におたずねください。電話での相談もお受けいたします。

今年もまた、旭山動物園からニューフェイス、

リス2頭が贈られ、温室そばのリス小屋の中で、皆様の  
おいでをお待ちしています。

ここ神楽岡公園の森には、すでに5頭のリスが放されています。時々元気に走りまわっている姿をみかけたことでしょう。かわいがってくださいね。

How do you do!



## 講習会のご案内

寄せ植えて正月を楽しむ

日 時 12月12日(日)午後1～3時



講 師 旭川市緑の相談所相談員

小 島 博 昭

定 員 40名 参加料 無料

お申し込み・お問い合わせは 旭川市緑の相談所 ☎ 65-5553

\*\*\*\*\*

# \* ☆ ★ ☆ クリスマスを楽しく★☆★

冬休みの子供さんと一緒に、飾りつけの工夫を試してみてはいかが?

親子の会話がはずみ、きっと良い思い出になることでしょう…



ベンジャミン  
赤トウガラシ



ポインセチア



サンゴミズキ  
ヒムロ、ヒイラギ  
マツボックリ、クルミ  
マツ、サンキライ等



ヒイラギ

オアシス

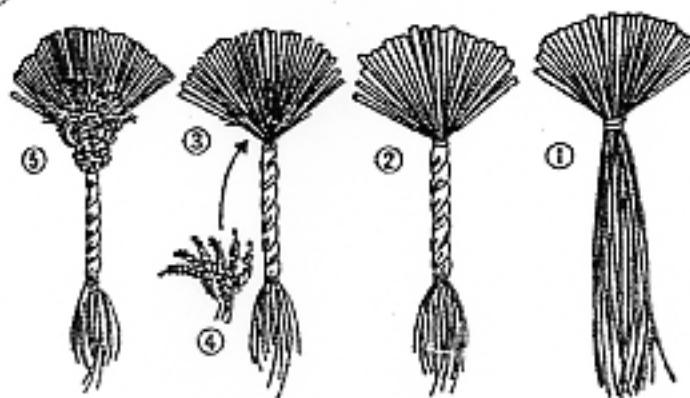
## 材料

ワラ・マツ  
イナホ  
マツボックリ  
水引



●ススキ形の正月飾り

## -「冬・花づくり」講座-より



## つくり方

①ワラの上三分の一のところを、ワイヤーでまとめます。②ワイヤーより下、三分の一をよって輪を作ります。下三分の一は残します。③上三分の一は扇形に広げ、とめた部分にマツの枝を。④上にイナホを。⑤水引をマツボックリと共に。

## 12月の園芸

年末からお正月にかけて花を飾って楽しむたいものですね。

冬咲きの花がいろいろと園芸店に出ていますが、買い求めた鉢は上手に育てましょう。

### 1. ポインセチヤ

クリスマスを飾る代表的なものです。赤いのは花ではなく、苞(ほう)といい葉の変形したものです。花は苞の中心に小さな粒のようについています。よくみると面白い形をしています。

高い温度と日光を好みますから、暖かく、ガラス越しの日光に当たる所に置きましょう。

10度以下の温度に合わせると葉が黄色くなつて落ちますから、店から持ち帰る時には気をつけることが必要です。

水は2~3日に1回たっぷりと与えます。肥料が切れると葉が黄色くなったり、赤い苞(ホウ)が長持ちしなくなりますから、週1回、千倍の液肥を与えてください。

### 2. シクラメン

シクラメンはあまり高い温度は好みません。日中は20度以下、夜は10度前後がよろしい。暖房のきいた暖かい住宅ではうまくいかないものです。

花をつぎつぎと咲かせるためにつぎのことに注意しましょう。

日光に良く当てる事、水は鉢土の表面が乾いたらたっぷり与えること、週1回、千倍の液肥を与え、ほかに月1回粒の肥料を2~3粒土の中に軽く押し込んでおきます。

傷んだ花や黄色みをおびた葉はその都度、茎をつまんでねじるようにしながら引き抜いておきます。

水やりの時、鉢のまわりに与え、球根の頭をぬらさないよう気をつけます。

## 1月の園芸

### 1. ブリムラ

高い温度は好みません。やや低温の所で、できるだけ日光に当ててやります。日光不足では花色が悪くなり花数も少なくなります。

つぎつぎと花を立てるので週1回の液肥も続けます。

傷んだ花はその都度摘み取ったり、花茎を切り取ったりします。

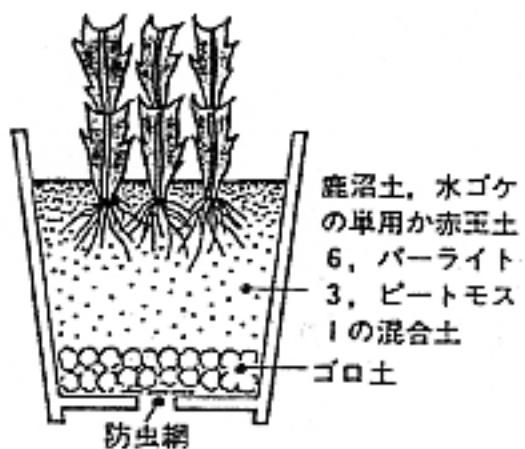
水を好みますから、乾き過ぎないうちにたっぷりと与えましょう。

### 2. シャコバサボテン

もうほとんど花は終わっていることでしょう。花がしおれたら実を付けないよう元から取っておきます。

そのまま育てると来年は伸びすぎてしまいますが、上から二節つけて切り取ります。切り取った茎葉は挿して増やしましょう。下図のように挿して暖かい所に置くと3週間くらいで根ができます。一月くらいたら薄い液肥を与えてそだてます。秋には花がつくようになります。

親株も先に新しい芽が見えてきたら、液肥を与えて育てます。



## 冬期間寄せ植えで楽しむ

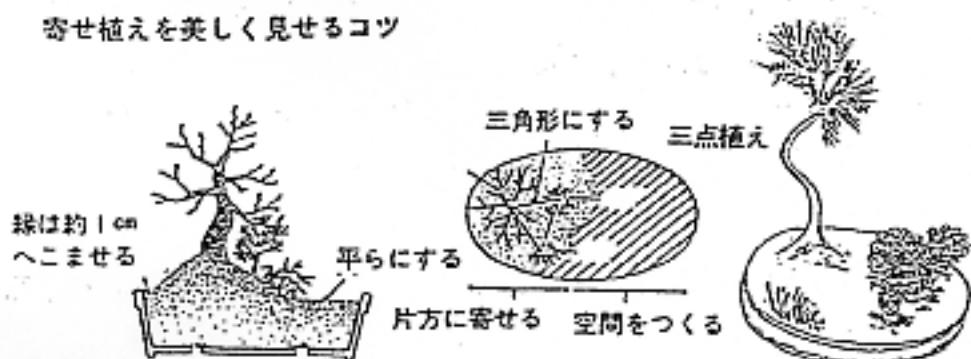
これからは室内で過ごすことが多くなる時期です。

和風、洋風の寄せ植えで冬期間を楽しくすごすのも一つの方法です。

### 和風寄せ植え

梅、松、笹、フクジュソウなどを使って下図のように植え込みます。

#### 寄せ植えを美しく見せるコツ



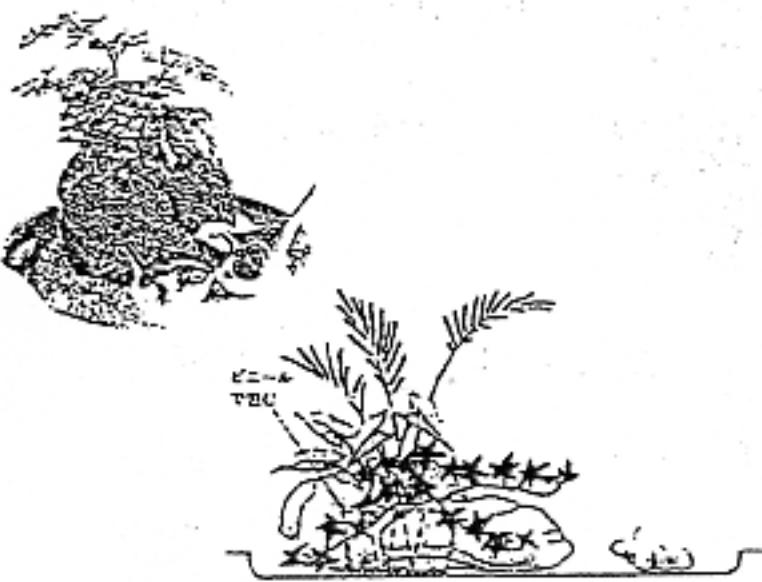
### 洋風寄せ植え

アジアンタム、スパシフィラム、カラジューム、オリヅルラン、アイビー、ヘデラ、小型の広葉樹（矮性のもの、針葉樹でも良い）などで植え込みます。例としては次図の通り。

水を含ませて、よくこねたケト土で山をつくり、頂上に凹を設け、一般の用土を詰めてアジアンタムを植えつける。ケト土の表面にコケを張ると、より自然さが出る。



白いバイ石を利用して、春の庭のイメージを再現した。バランスよく株を寄せて、株元を山ゴケなどで隠す。植物は、ブリムラ、スノードロップ、アイビーなど。



ビニールで包んだポットを置いて、石で見えなくなるように隠す。

### △容器

ガラス、金属、陶器、木など。

### △用土

保水力があつくてくずれにくい赤玉土、バーミキュライト、ビートモス、珪酸白土など。

化粧用として砂、小砂利、コケ、パークなど。